



降る雪に想う

教頭 長崎 亨

本校では、「雪国の自然や風土を生かし、雪に親しみ自然から学ぶ心を育てる」ことをねらって、スキー学習会を行っています。日頃からスキーに親しんでいる子供にとっては楽しみな行事ですが、初めてスキーをする子供やスキーが苦手な子供にとっては、不安な行事でもあるようです。



今年度、初めてスキーに挑戦した3年生のAさんは、思いどおりにならない雪上の活動に、「スキーなんて楽しくない。もうやめたいな。」と書いていたそうです。それでも練習を重ね、少しずつ上達しました。感想には、「先生に教えてもらった『トン・トン・パッ』をやると、転ばずに滑ることができてうれしかったです。来年もがんばりたいです。」と書いていました。スキーという道具を使って雪の上を滑る楽しさを味わった喜びや、できなかったことができるようになった達成感が感じられます。

雪には、さまざまな認識があります。雪による災害等を克服しようとする「克雪」、生活や産業で利用しようとする「利雪」、野外活動等を通して雪に親しもうとする「親雪」。毎年降る雪をやっかいなものとして捉えるだけでなく、私たち大人も、この「親雪」の気持ちを持ち続けていたいと思っています。

雪遊びやスキー、スノーボード、雪原の散策等、雪に親しむ手段は多様です。本校のスキー学習会が、「親雪」のきっかけとなることを願っています。

終わりに、金子みすゞさんの詩「積もった雪」を紹介します。この詩では、さまざまな状況に置かれた雪たちへの作者の優しい心が感じられます。雪景色を眺めていると穏やかな気持ちになることがあります。雪には、そんなよさもあるのかもしれない。

積もった雪 金子みすゞ

上の雪
さむかるな。
つめたい月がさしていて。

下の雪
重かるな。
何百人ものせていて。

中の雪
さみしかるな。
空も地面(じべた)もみえないで。

NICE TV「ふるさと教育」に関する番組の放送について

魚津市では、ふるさと教育の一環として、ふるさと発見バス事業を行っており、学年ごとに市内の名所を訪れて学ぶ取組をしています。NICE TVで、本校の4年3組の見学の様子が、放映されます。ご家庭で視聴可能であれば、ぜひご覧ください。

〈番組名〉	・「ふるさと魚津のすてき発見」(091ch) 第6話 清流小学校4年3組 ふるさと魚津の水循環 編
〈放送日〉	・2月12日(日)～2月18日(土)
〈放送時間〉	・午前6時30分～、午前9時30分～、午後0時30分～ ・午後6時30分～、午後9時30分～、午後11時30分～ (各回共通1日6回再放送)

5年生の取組より

5年生は、総合的な学習の時間に「SDGs未来に輝く魚津をつくろう」をテーマに学習に取り組みました。一人一人が興味をもったSDGsの目標や日本と世界の課題、目標達成を目指した取組事例について調べ、目標が達成された未来の魚津市をジオラマでつくって紹介しようという活動内容です。このテーマに取り組んだきっかけは、「調べるばかりじゃなくて、調べたことを生かして、本物の何か、役立つ何かを作ってみよう」という子供たちの願いからでした。

「誰もが安心安全に平和に幸せに過ごすことのできる魚津市へ」と願いを込めながらつくった未来の魚津の町は、環境や教育、エネルギー開発、人権等について、豊かなアイデアと希望であふれていました。

自分たちが生きる社会に課題を見付け、「こうだったらいいなあ」「こうできないかなあ」「そのためにはこうしたらよいのではないかなあ」と見通しをもって思考し、調べ、そして「でもこうしたら、ここがだめなんじゃない?」「そうか、何かいい方法ないかなあ」と周りの人と対話し、何度も練り直しながら、この未来の魚津の町はできていきました。子供たちの願い通り、自分たちの手でつくり上げたのです。

私たち5年担任は、この1年間、学習や行事等様々な場面で、子供たちが自分で、そしてチームで、課題に対して考え、試行錯誤しながらチャレンジし、一つ、また一つと自分たちを、そして、クラスや学年というチームを成長させていく姿を見てきました。子供たちの可能性は無限です。5年生の子供たちがこの先、どんな可能性を發揮し、どんな姿に成長していくのか、そしてどんな夢や未来の魚津を切り開いていくのか、とても楽しみです。



【5年生が作成した未来の魚津市のジオラマ】

学校の出来事いろいろ ~1月~

1月10日(火)…始業式・書初め大会



1年間のまとめとなる3学期がスタートしました。書初め大会では、冬休みの練習の成果を發揮できるように真剣に取り組んでいました。

1月25日(水)…オンライン学習



暴風雪等による影響が懸念されたため休校となり、2年生以上の学級では、オンラインによる学習を行いました。
※接続トラブルや学童保育通所等の事情により参加できなかった児童へは、翌日に学校で復習・確認を行いました。